

CHANGE

変革の時代の中、 あなたの明日の病院像を一緒に描きたい



みんなの笑顔が
病気に勝つんだね。

◎システムのご案内

【特徴】

- 1. インターフェイスの中に他社にない豊富なノウハウを含む実績**
 - ・病院様の最大財産(医事データ及び電子情報)とインターフェイスをとり、詳細に利用することにより部門別・診療科別、患者別・疾病別の分析諸表の精度アップを実現しました。
- 2. 他社の追従を許さない多彩な配賦方式**
 - ・多彩な配賦方式のなかから費用項目ごとに最適な方式を選択することができ、より自病院にあった最適な配賦ができます。
- 3. 従来のHAISの機能をリニューアルし低価格を実現**
 - ・発売以来15年余の経験と30数病院様でのご利用実績をもとに、更にリニューアルし低価格なパッケージ料金と導入費を実現しました。
- 4. 経験豊かなコンサルアドバイザーを派遣**
 - ・原価計算結果に基づいて、コンサルアドバイザーが経営会議(部科長会議)にてご説明・アドバイスさせていただき、経営改善のお手伝いをさせていただきます。

【ご提供システム】

●部門別・診療科別原価計算システム

- ・部門別の分析諸表
- ・診療科別の分析諸表
- ・病床100床当り収益費用額表

●患者別・疾病別(DPC別)原価計算システム

- ・患者別の分析諸表
- ・疾病別の分析諸表
- ・患者分布表

※診療圏分析や医師別原価計算は、営業にご相談下さい。

NEW HAIS

◎導入後の部科長会議では…



●出力(14帳票/グラフ+表計算への出力) 部門別損益(部門別損益総括表)



部門別の全ての収入と経費の現状を把握し、収益の向上を図ります。

- Q1** まわりの病院と比べて、収益率が低い原因はどこにあるのですか？
A 循環器科の患者一人当たり診療収入が全国平均の8割、内科の医師一人当たり診療収入が9割にとどまる点が大きいのと思われます。
- Q2** 放射線部の費用配賦で、どうして整形外科が大きな分配値になるのですか？
A 放射線部を利用した患者数比率で配賦したので、実態とかけ離れたと思われます。放射線料の比率で配賦したら実態に近づくと思われます。
- Q3** 物品管理業務を外部委託に切り替えた効果は出ていますか？
A 委託費は増加しましたが、人件費が下がり全体として費用が減少しました。
- Q4** 昨年と比較し、減価償却費負担が重くなったのはどうしてですか？
A 高額なME機器を購入したことによりですが、その機器の使用状況は当初予定より低い状態です。
- Q5** 診療材料や薬剤の購入金額が全国平均より高めですが、もっと安く買うことはできませんか？
A 類似品の種類を減らし購入ロット数を拡大して、単価を下げる事が出来ると思います。